

米原市の初夏の風物詩、天野川のゲンジボタルが今年も見頃を迎えます。鈴鹿山地と伊吹山地に囲まれたこの地域は、石灰岩を通った清らかな水が流れ込み、ホタルの餌となるカワナナが育つのにぴったりの場所です。古くからホタルの名所として親しまれてきたこの地は、「長岡のゲンジボタルおよびその発生地」として全国で唯一、国の特別天然記念物に指定されています。



長岡のゲンジボタルとその発生地



天野川のホタル (米原市公式サイト)のホームページはこちら

■ 天野川に舞うゲンジボタル (米原市)

国も認める光のショー



ゲンジボタルが飛び交う天野川＝米原市長岡で (細野まさゆきさん提供)

地の保全を続けてきた、たいに足元を照らすあんどんゆめ活動に支えられています。例年、5月下旬から少しづつ姿を見せ始め、6月上旬から中旬にかけて見頃を迎えます。今年の「ほたる観賞推奨期間」は、6月5日から14日までの10日間です。この期間中は川沿

れ、勇壮なほたる太鼓などが披露されます。日が傾く午後5時からは、旧山東東小学校体育館で「第40回天の川ほたるまつり」が開催され、ライブショーなど記念すべき節目の年をにぎやかに彩ります。

ホタルはとても繊細な生き物で、強い光や大きな音が苦手です。観賞の際は、スマートフォンのライトやカメラのフラッシュは使わずに、静かに見守ってください。もちろん、つかまえることも厳禁です。こうした一人一人の思いやりが、特別天然記念物のホタルが舞うこの景色を次世代へつなぐ力になります。

ホタルはとても繊細な生き物で、強い光や大きな音が苦手です。観賞の際は、スマートフォンのライトやカメラのフラッシュは使わずに、静かに見守ってください。もちろん、つかまえることも厳禁です。こうした一人一人の思いやりが、特別天然記念物のホタルが舞うこの景色を次世代へつなぐ力になります。



「ほたるまつり音楽祭」で太鼓演奏をする子どもたち＝米原市長岡の西福寺で (市提供)

【アクセス情報】米原市長岡の天野川沿いへはJR近江長岡駅から徒歩約10分。車の場合は、北陸自動車道米原インターチェンジ(IC)から約15分、名神高速道路関ヶ原ICから約20分。専用駐車場なし。ホテル観賞地周辺は大変混み合うため電車でのご来訪にご協力ください。特に金、土、日曜はマイカーでホテル観賞地にお越しにならないようお願いします。



これまでの「しが旅のススメ」はこちら